



学校便り

令和2年11月号

太田っ子

めざす子ども像
おもいやりのある子
おもいっきり勉強する子
たくましく生きる子

読書週間です！ みんなの好きな本は？

毎年、10月の下旬から11月3日の文化の日を挟んで2週間「読書週間」になります。それは、秋が深まって夜が長くなり、静かな環境の中で本に親しんでもらおうという理由から設けられたものです。

読書は習慣といわれるように、読み始めるととてもおもしろく、また楽しめるのですが、読む気がないと本を手にもすることがありません。

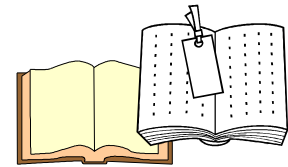
しかし、いったんおもしろい本や楽しい本を手にとると、次から次に読書したくなるものです。やがては、読書から知識が豊かになり感激を与えられ、心も豊かに成長していくものです。伝記を読むとその人の生き方に感動したり、小説からは主人公の行動に感心し驚かされたりします。民話からは、想像力が広がり、物の考え方がひとまわりもふたまわりも幾重にも大きくなっていくものなのです。

ところで、太田小学校の子どもたちは、どんな本が好きなのでしょうか。全校児童にアンケートを実施し、好きな本を教えてくださいました。671冊のうち、

1位は、『かいけつゾロリ』

2位は、『おしりたんてい』

3位は、『図鑑』（動物・昆虫など）でした。



他にも、『〇〇のひみつ』『5分後に意外な結末』『めいろ』『歴史』『伝記』小説『名探偵コナン』小説『鬼滅の刃』『たまごにいちちゃん』『キャベツくん』『ミッケ』など。怪談（ホラー）の本も人気があるようです。年齢が上がるにつれて、様々な分野の本が挙げられ、興味も多様化する傾向が見られます。また、自分の夢に関連した本を挙げる児童も増えています。

「読書は心の栄養」とも言われます。ぜひ、読書習慣をつけましょう。



(校長 西尾 博之)